壇の岡

１２月　８日（金）　第３０号
発行責任者
鮫川中学校長　角田敏文

教育目標

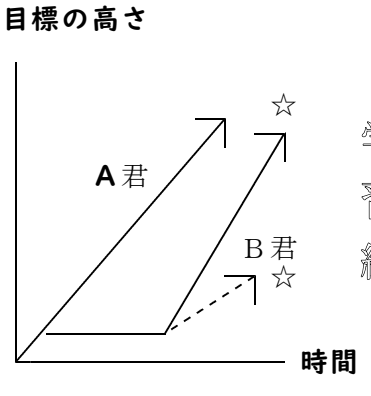
学ぶ心
よく学び自己を高める生徒

美しい心
心豊かで思いやりがある生徒

強い心
心身を鍛えたくましい生徒

こちらから各学年だより等がスマートフォンからもご覧できます。

二学期を終えて　学習編



高校受験はまだまだ先のことと構えがちですが右のグラフを見て下さい。A君もB君も同じ目標（A高校合格）をもっているとします。計画的なA君に対し、B君はA君と同じ目標に到達するためには、相当の努力が必要になる事がわかります。そして、もし、B君にその努力ができなかったとしたら・・・・。B君は目標を落とさざるを得ません。

お子さんはA君タイプでしょうか、B君タイプでしょうか？今が、行動の時です。三ヶ月後、一年後、二年後の今日後悔しないように、今から行動《実践》を継続してほしいです。

三日坊主にならずに勉強を何年も続けていくことは、毎日たくさんではなく１時間程度でも習慣化し、継続していくことです。この場合の勉強という一段高いレベルに向上させるは、読書を含め、自分自身をもあらゆる活動を含みます。

一日５時間１週間だけ勉強するよりも、毎日30分の勉強を３年間続ける方が何十倍も効果的です。習慣化すれば何の苦にもならず、集中できる時間も増えていきます。５時間ないやいやするのは当たり前です。

一日５時間の勉強を年間８日（定期テスト前２日間×定期テスト４回）の計40時間だけする人と、一日30分の勉強を年３００日（日曜日以外）の計１５３０時間する人。少しずつでもいいから勉強を毎日続けるほうが、絶大な効果あることが分かると思います。年数が経てば経つほど、両者の差は歴然です。

勉強を続けていくことを選べば、苦もなく徐々に勉強時間を長くでき、成績向上にもつながります。一方、勉強しないほうを選べば、成績下降↓↓↓高校不合格となります。

なかには、せっかく勉強を始めても三日坊主になり、自己嫌悪に陥る人もいるでしょう。しかし三日坊主でもいいのです。三日坊主を年間50回くり返したら、１年間で１５０日も勉強していることになります。これってすごいことだと思いませんか。

習慣づけるということは、無意識（潜在意識）に行動パターンを刷り込むということに他なりません。習慣を変える事は、しんどい作業です。しかしそれ以外に現状を変える方法はありません。

成功や失敗をくり返し、少しずつ良い習慣を身につけていけばいいのです。失敗した場合は、「失敗した」と考えず、「改善のための重要なヒントを得た」と考えることです。

ほとんどの人は、勉強の成果をすぐに感じたいと望みますが、これはほぼ不可能です。生徒達は、即効性の成果を期待しすぎるから「なんでこんなに勉強しているのに成績が上がらないんだ」「私は頭が悪いからこれ以上やっても無駄だ」と変な自己嫌悪に陥ってしまうのです。《大人のダイエットと同じです》この低空飛行のときに、あきらめず、忍耐強く勉強を繰りかえしていけば、累積効果が効いてきて、その後急激に成果が現れてきます。

『信念と継続だけが全能である』自分を信じ、勉強を継続すれば、想像もつかないほど大きな成功を得ることができるのです。

１・２年　実力テストに向けて

12月21日（木）に第２回実力テストが実施されます。定期テストと違い、テスト範囲が広範囲で、知識の定着を確認できる大切なテストです。

すでに範囲表は配ってあります。ご家庭で、取り組み方を確認してください。

週の行事予定

11	12	13	14	15
月	火	水	木	金
スペコンプレテスト	少林寺拳法授業（２年）	スポーツ庁後援ダンス授業 NO部活動デー	中高連携講座（２年）	専門委員会